

避暑地ナンバーワンに 奥日光

2017夏 多雨で夏空が姿を見せない夏が逝こうとしている。

暑さを避ける「避暑地」といえば「軽井沢」という時代が変わりつつあるという。

旅行雑誌「るるぶ」の発表によると「避暑地の人気」1位は奥日光、2位が奥入瀬（青森）3位が草津、4位那須高原、5位が軽井沢。

今年日光に出向いたが、奥日光の涼しさは軽井沢とはまったく違っていた。空も高く、緑、小鳥のさえずり、時が過ぎるのがゆっくりしていて、いつまでも滞在したいと思った。40年以上前はずいぶんと家族で軽井沢にでかけ、「すずしい」と喜び、別荘族の人たちのふるまいに羨望のまなざしをそそいだものだ。青春時代、テニスやゴルフで軽井沢に出かけたが、草津のほうがプレーしやすいと軽井沢は買い物、食事に限定した。友人たちと軽井沢銀座で買い物をしながら、「熱いよね、避暑地でないよね」と言っていたことを思い出す。

今回の「奥日光」1位はなるほどなはずけるのだ。と同時に、「軽井沢」はゴルフ、テニス、ショッピング浅間山、鬼押し出し、と多様な観光があるかもしれないが。奥行きがないともいわれる。観光地人気に甘んじて地元の努力が希薄なのか？

川越の人気も地元住民、行政の努力なくして、持続することは難しい。川越を観光都市として奥行きを持たせるために何が必要か、今こそ考えていかなければならない。

毎月12日はパンの日 今月は番外編 フランスベーカリー軽井沢

木々の緑が色濃くなるとなぜか軽井沢にいきたくなる。

碓井バイパスから点在するゴルフコースに熱心に通ったときもあった。

「フランスベーカリー」と聞いて「ジョンレノン」と反応する人はかなりの通。

避暑地として古くから栄えた軽井沢にはおいしいパン屋が多い。軽井沢でさわやか

な風を体いっぱい取り込んだ友人ご夫妻が昨日届けてくれた「フランスベーカリーのアップルパイ」をご紹介します。

旧軽銀座にある「フランスベーカリー」。(ジョンレノンが自転車で「フランスパン」を買いに来た。ヨーコとレノンが通った店)などその伝説は色褪せない。

製法も当時そのままというので、一口ひとくちが味わい深い。大きなリンゴのピースの存在感、カスタードクリームの上品なサポート。そして、良質なバターの香りがたまらない。

これからの季節、軽井沢は多くの人々がおとずれ、ひと夏の思い出を紡いでいく。旧軽銀座をそぞろ歩き「フランスベーカリー」にぜひ！